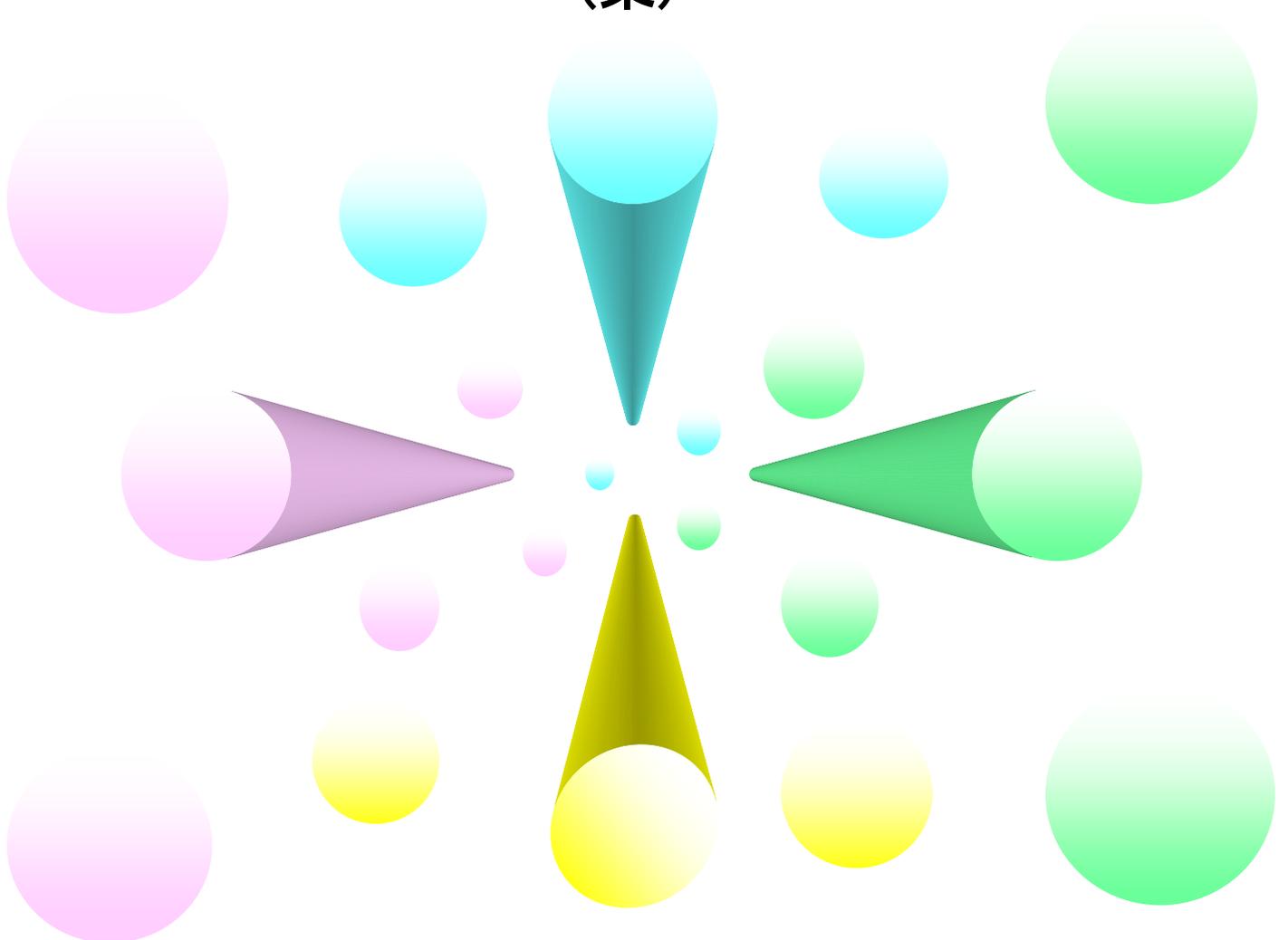


平成 26 年度  
(2014)

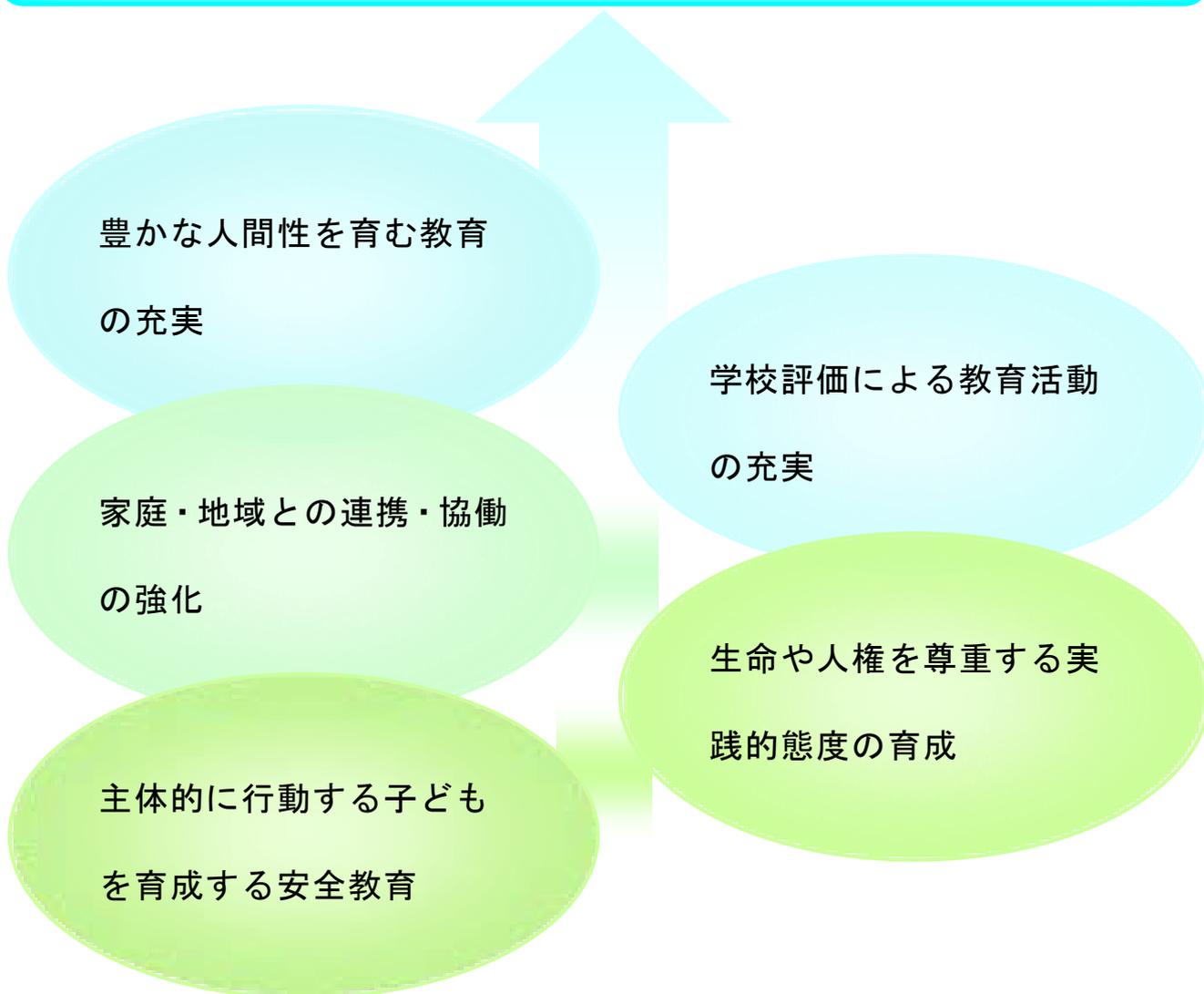
生駒市学校教育の目標  
(案)



生駒市教育委員会

## 1 基本方針

本市の学校教育は、人間尊重の精神を培うことを基盤に、知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましく、生きる力をもった新しい時代を担う人づくりを目指して推進する。



## 2 重点目標

### 創意と活力に満ちた開かれた園・学校づくり

- 学校評価の結果に基づいて全教職員の創意工夫と特性を生かした教育計画を立て、子どもも教職員もいきいきと活動する活力ある園・学校づくりに努める。
- 積極的な情報提供によって説明責任を果たす。

### 「確かな学力」を育てる指導

- あらゆる教科で言語活動の充実に取り組む。
- 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力を育成し、学ぶことの楽しさや成就感を体得させる。

### 豊かな人間性の育成と確かな規範意識の醸成

- 生き方や人としての在り方についての考えを深めさせ、互いに認め合い共に生きていく態度や自律・自制の心を育てる。
- 子どもたち自らいじめ防止を呼びかけるなど、いじめ防止月間の取組を発展させる。

### たくましい心身を育てる指導

- 運動・スポーツの実践や健康、食育の指導を通して、自ら意欲をもち、生涯にわたってたくましく生きるための心身を育成する。
- 防災教育のほか、交通安全、生活安全などの安全教育を通じて、主体的に行動する子どもを育成する。

## 3 本年度の指導の力点

### 伝え合う力の育成

自分の思いを人に伝える力と他者を思いやる心を育てることで、人と信頼し合える関係を築くことができるようにする。

#### 体力の向上

体力向上推進プランに基づいて、体育的活動を充実し、体力を向上させる。

#### 規範意識の醸成

社会規範への理解を深め、それらを守ろうとする態度を育成する。

#### 「わかる授業」づくり

教材・教具、指導方法を工夫し、子どもが生き生きと活動する授業を創造する。

## 4 校種別指導の重点

### 幼稚園

#### 本年度の重点課題

- ☆ 基本的な生活習慣や態度を育て、幼児が主体的に活動する環境構成の研究
- ☆ 地域、家庭、保・小・中との連携と、個に応じた指導の計画的・組織的な推進

#### 魅力的な園づくり

- ・ 幼児が主体性を発揮し、幼児期にふさわしい生活を展開できる環境をつくる。
- ・ 一人一人の発達の特徴を理解し、育ち合う集団をつくる。
- ・ 家庭における子育てを支援し、学校や保育園、地域と連携した教育内容を創造する。

#### 一人一人に自己充実感をもたせる指導

- ・ 幼児の発想を生かし、自分なりに表現する力を育てる。
- ・ 経験したことや感じたことなどを話したり、聞いたりする喜びを味わわせる。
- ・ 一人一人のよさや内面を理解し、自信や意欲をもたせる。

#### 豊かな感性と、道徳性の芽生えを促す指導

- ・ 友達や身近な人々に親しみをもち、共感し合う体験や相手を思いやる心を大切にする。
- ・ 自然や人との触れ合いなど、体験を通して生命の大切さに気付かせ、豊かな心情を育てる。
- ・ 幼児期にふさわしい規範意識を育てる。
- ・ 読書の楽しさと出会えるように、絵本や物語と親しむ活動を積極的に行う。また、未就園児対象の読み聞かせを推進する。

#### 健康な体をつくる指導

- ・ いろいろな遊びに興味をもたせ、しなやかな心と体を育てる。
- ・ 健康で安全な生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身に付けさせる。
- ・ 健康な心と体を育て、幼児が進んで食べようとする環境を構成する。

## 小学校

### 本年度の重点課題

- ☆ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、自ら学び、自ら考える力を育成する教育課程の編成とその実施
- ☆ 公開授業等の実践的な研修を通じた教師の指導力の向上
- ☆ 豊かな心とたくましい体をもつ子どもの育成

### 一人一人を生かす学級・学年づくり

- ・ 一人一人の児童の願いと個性を生かした学級や学年をつくる。
- ・ 互いのよさや人権を認め、支え合い励まし合いながら、仲間とともに伸びる学級や学年をつくる。

### 自ら学び、自ら考える力を育てる学習指導

- ・ 児童の発想を生かし、主体的な学習活動を促す指導を工夫する。
- ・ 学習形態の工夫や少人数指導により、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、一人一人がもつよさや可能性を発揮できるように支援する。
- ・ 言語活動を取り入れた学習や体験学習、問題解決型学習、ICTを使った学習、グループ学習を積極的に取り入れ、分かる喜びと学ぶ楽しさを味わわせる。

### 豊かな心をはぐくむ指導

- ・ 家庭と連携して、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせる。
- ・ よく考え、正しく判断し、進んで実践しようとする態度を育てる。
- ・ 身近な自然や人々とのかかわりを通して、感動する心、他者を思いやり認め合う心、生命や人権を大切に作る心など、豊かな人間性を育てる。
- ・ 自らのよさに気づき、生きる喜びを感じられるようにする。
- ・ 地域や保護者、学校図書館司書と連携して読み聞かせやお話し会を行い、読書に親しむ機会を多く作る。

### 健康でたくましい心身の育成

- ・ 運動の楽しさを味わわせながら、生涯にわたって運動に親しむ資質の基礎を育てる。
- ・ 健康や安全についての基礎的な知識や実践力を身に付けさせ、主体的に行動できる子どもを育てる。

## 中学校

### 本年度の重点課題

- ☆ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、自ら学び、自ら考える力を育成することができるような教育課程の編成とその実施
- ☆ 公開授業等の実践的な研修を通じた教師の指導力の向上
- ☆ 豊かな心とたくましい体をもつ子どもの育成

### 一人一人がいきいきと活動する学級・学年づくり

- ・ 一人一人の生徒の自主的、主体的な活動を生かした学級や学年をつくる。
- ・ 互いのよさや人権を認め、支え励まし合って、共に伸びる学級や学年をつくる。
- ・ 学習や集団活動の場として、活気と規律のある学級や学年をつくる。

### 自ら学び、自ら考える力を育てる学習指導

- ・ 生徒の実態を的確に把握し、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、一人一人のよさや可能性を伸ばす。
- ・ 学習の過程や主体的な活動を重視し、自ら学び、自ら考える力を育てる。
- ・ 言語活動を取り入れた学習や体験学習、問題解決型学習、ICTを活用した学習、グループ学習などを通して、学ぶ楽しさや成就感を体得させる。

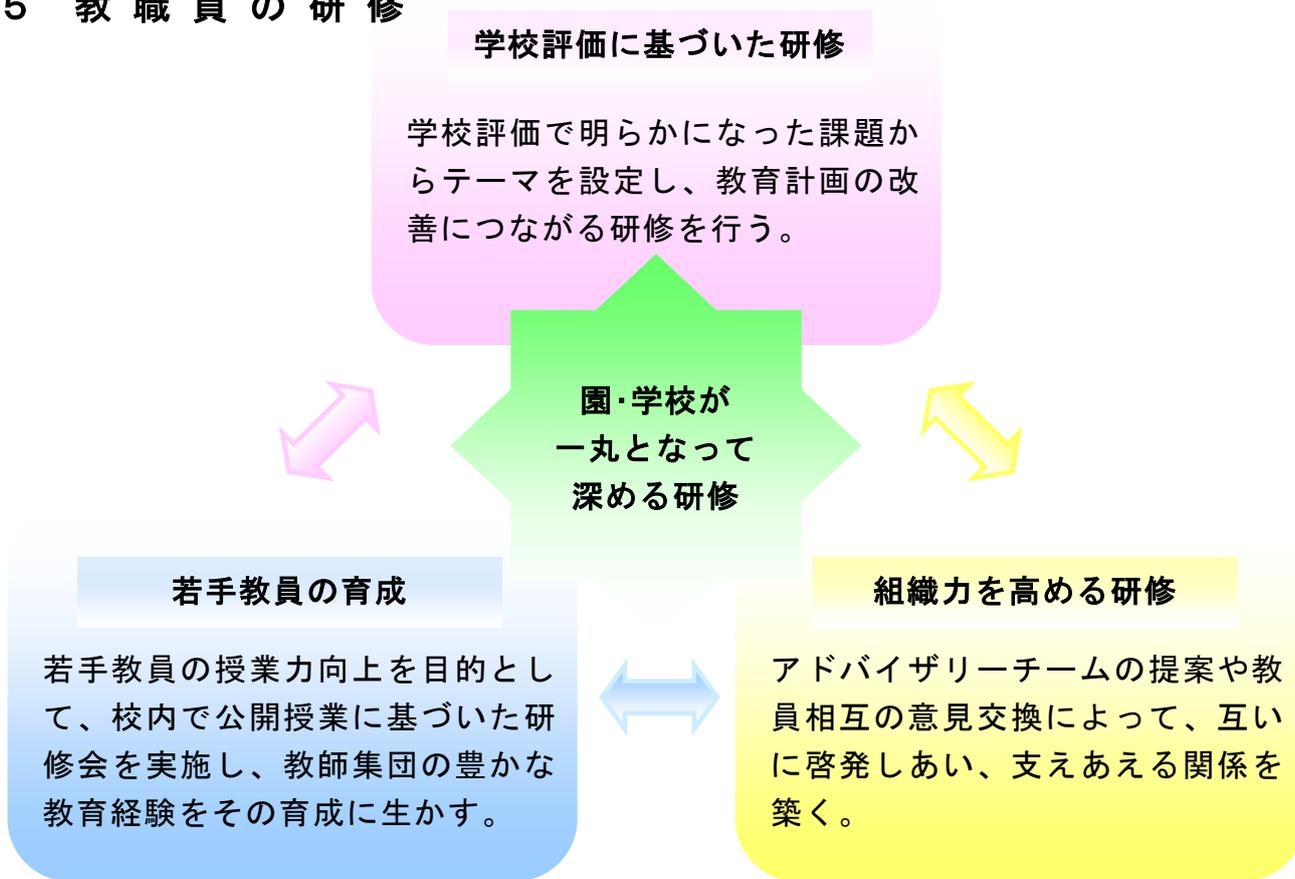
### 豊かな心を育て、生き方の自覚を深める指導

- ・ ガイダンスの機能を活かし、個に応じた指導や支援を行う中、自分で選び自分で決定する機会や場を多く与えて自己有用感をもたせる。
- ・ 命の大切さを伝えるとともに、自らの生き方への自覚を深めさせ、主体的な進路選択ができるようにさせる。
- ・ 生徒が感性を磨いて創造力を豊かにするとともに、より深い人生を送ることができるよう、学校全体で読書活動を推進する。
- ・ 家庭や地域社会との連携を深め、互いの教育機能を生かし、共に健全育成を目指す体制をつくる。

### 健康でたくましい心身の育成

- ・ 運動やスポーツの楽しさを体得させて、自ら運動に親しみ、意欲をもって粘り強く取り組む態度を育成する。また、生涯にわたる運動やスポーツの重要性を理解させる。
- ・ 健康・安全・食育についての理解を深めさせ、健康で安全な生活習慣と実践力を自ら形成しようとする態度を育成する。

## 5 教職員の研修



## 6 保護者・地域・関係機関・専門家等との協力・協働

### 地域とともにある学校づくり

- 学校地域パートナーシップ事業、地域ぐるみの児童生徒健全育成推進協議会の活動、スクールボランティアの活用、学校創造推進事業による地域との協働の推進。
- 教育活動や学校評価結果を学校だよりやホームページで家庭、地域へ情報提供。
- 学校評議員会、外部アンケート、学校関係者評価委員会によって保護者・地域の意見を把握。

### 関係機関・専門家等との連携

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザーズ、就学前教育相談員の活用による幼児児童生徒、保護者、教職員の支援。
- ことばの教室・通級指導教室、教育相談室、適応指導教室と情報共有。
- こどもサポートセンター、中央こども家庭相談センターや警察との連携による幼児児童生徒の保護と健全育成。

### 面談による保護者との信頼関係の構築

指導にあたって、必要に応じて家庭訪問をするなど、面談によって保護者と学校が相互の願いを理解しあえるようにする。

## 生駒市民憲章

生駒山の豊かな緑に生まれ、自然と歴史と文化が調和しながら発展しつづける生駒市。わたしたちは、ここに住むことへの愛着と誇りをもって、みんなの夢がかなうまちを築くために、市民憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、人と自然が共生する美しいまちをつくりましょう。
- 1 お互いに助け合い、安心して暮らせるやさしいまちをつくりましょう。
- 1 人権を尊重し、心のかよいあうあたたかいまちをつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康で活力のあるまちをつくりましょう。
- 1 知恵を出しあい、世界にはばたく文化のまちをつくりましょう。

平成 13（2001）年 11 月 1 日制定

日本は地震をはじめ、災害の多い国と言われていますが、近年は地球温暖化が所以と言われる異常気象が頻発しています。昨夏は最高気温の観測記録が更新され、秋の終わりには大型台風が上陸しました。竜巻等想像を超える規模の自然災害も増えています。

災害が発生した時、子どものそばにいつも大人がいるとは限りません。子ども自身が危険を察知すること、すばやく回避できる判断力と行動力を身につけることは、生涯にわたって安全を確保する素地となります。そこで生駒市では、身近に起こる災害の様子や対応の仕方について学校でも指導することや、様々な場面を想定した避難訓練を実施することを学校教育の重点目標としています。

近年は家庭や地域、関連機関と連携し、通学路の安全点検や災害時の児童引き渡し訓練などを行い、学校の取組の理解を得ているところもあります。これからの学校教育で重視されているのが地域社会の積極的な参画です。子どもの活動場所が学校内だけでなく地域全体に広がるとともに、地域全体で子どもの成長を支える仕組みが必要です。

小学校は学校と地域とが共通の関心を持ち、共通の行事に参加し、互いに心の交流を図って子どもを見守る「学校・地域パートナーシップ事業」の取組が 2 年目を迎えます。本年度はそれを中学校にも広げ、市全体で地域とのパートナーシップによる教育活動を推進したいと考えております。これにより、教職員が今後一層、子どもや保護者・地域の願いや期待に応える園・学校づくり、地域と共にある学校づくりを進めてくれることを期待しています。

平成 26 年 3 月

生駒市教育委員会 教育長 早川 英雄